

第7回全国書写書道総合大会総合の部

【文部科学大臣賞】

新潟県・新潟大学教育学部附属長岡中学校3年

植木 萌心

祖父の入院を乗り越えて中学最後の夏に挑んだ

このたびは、総合賞で文部科学大臣賞という大変素晴らしい賞をいただきありがとうございました。

今年は中学の最高学年の夏の大会ということで、生徒会活動や受験勉強がある中でも、しっかり結果を残したいと思っていました。しかし、思いがけぬ祖父の入院があり、練習の開始時期が遅くなったことで、過去最低の練習時間になってしまいました。今大会は、いい結果が得られないかもしれないと一度は出品を諦めようと思ったのですが、講習会に参加したことを機に、先生方の熱い指導に触れ、私もできる限り練習に取り組もうと覚悟を決めました。

迷いがふっきたお陰で、毛筆は、一発本番の席書で思いのほか集中できたことで、仕上がりには少し自信がありました。硬筆も、短時間の練習でも、これだけの文字が書けたということが今後の自信に繋がったと同時に、これも普段からの練習が身に付いている証拠だと感じ、嬉しく思いました。

書写書道は私にとってなくてはならない存在となりつつあります。これからも楽しんで続けていけるように頑張ります。